

# 2014年2月期 1Q決算補足資料

イオンディライト株式会社 

2013年7月3日

# 2014年2月期 1Q決算ポイント

- 今期スタートダッシュは順調。増収・増益を果たすと共に、2Q以降のビジネス展開に向けた取り組みも順調。イオングループの伸長に加え、大型スタジアム、大手企業本社ビル、商業施設の新規顧客開拓を推進し1Q業績は堅調に推移。
- 総合FMS事業の更なる強化とIT事業戦略を推進するためIT事業統括を配置。成長基盤を構築し、事業展開を加速化
- 原価低減と業務効率化による収益力改善に向け、アライアンス先、協力会社との関係強化を推進。売総率の改善とキャッシュフローの改善に実績。
- 中国・アセアンにおける総合FMS事業展開も積極的に推進。



# 連結対象子会社の概況

## 1. 2013年2月期より新規連結(2社)

### ●イオンコンパス株式会社

代表者:代表取締役社長 池畑 和佐 事業内容:海外旅行・国内旅行の取り扱い  
資本金:3億4,800万円 当社出資比率:55.0%

※その他に、永旺永楽(中国)物業服務有限公司の子会社1社を連結の範囲に含めております。

## 2. 2014年2月期1Qより新規連結(10社)

### ●株式会社ジェネラル・サービシーズ

代表者:代表取締役社長 北野 博之 事業内容:各種コンサルティング、ビジネスサービス、アウトソーシング等  
資本金:4億6,635万円 当社出資比率:53.7%

### ●永旺永楽(杭州)服務外包有限公司

代表者:董事長 定岡 博規 事業内容:管理部門におけるBPOサービス  
資本金:1,184万人民元 当社出資比率:70%

### ●AEON DELIGHT (MALAYSIA) SDN.BHD.

代表者:代表取締役社長 NORIAHWATI BINTI MOHAMAD NOH 事業内容:総合ファシリティマネジメントサービス  
資本金:800万リンギット 当社出資比率:100%

### ●Aライフサポート株式会社

代表者:代表取締役社長 杉原 公 事業内容:マンション管理および居住者生活支援に関わるサービス  
資本金:9,500万円 当社出資比率:85.8%

### ●永旺永楽蘇房(蘇州)物業服務有限公司

代表者:董事長 奥野光一 事業内容:総合ファシリティマネジメントサービス  
資本金:500万人民元 当社出資比率:51%

### ●AEON DELIGHT (VIETNAM) CO.,LTD

代表者:代表取締役社長 磯貝 孝幸 事業内容:総合ファシリティマネジメントサービス  
資本金:62万米ドル 当社出資比率:100%

※その他に、株式会社ジェネラル・サービシーズの子会社1社、永旺永楽蘇房(蘇州)物業服務有限公司の子会社3社を連結の範囲に含めております。

# 業績について

売上高及び売上総利益は、対前年比で増加

売上高 前年同期比 **113.9%**

売上総利益率 **11.9%→12.2%**

単位:百万円

	2013年2月期 1Q		2014年2月期 1Q			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	前年比 (%)	前年差
売上高	58,584	100.0	66,711	100.0	113.9	+8,127
売上総利益	6,980	11.9	8,134	12.2	116.5	+1,154
営業利益	3,093	5.3	3,390	5.1	109.6	+297
経常利益	3,102	5.3	3,403	5.1	109.7	+301
当期純利益	1,786	3.1	1,858	2.8	104.0	+71

# セグメント別評価(売上高)

建設施工事業、前年同期比**143.4%**

サポート事業、前年同期比**143.1%**

単位:百万円

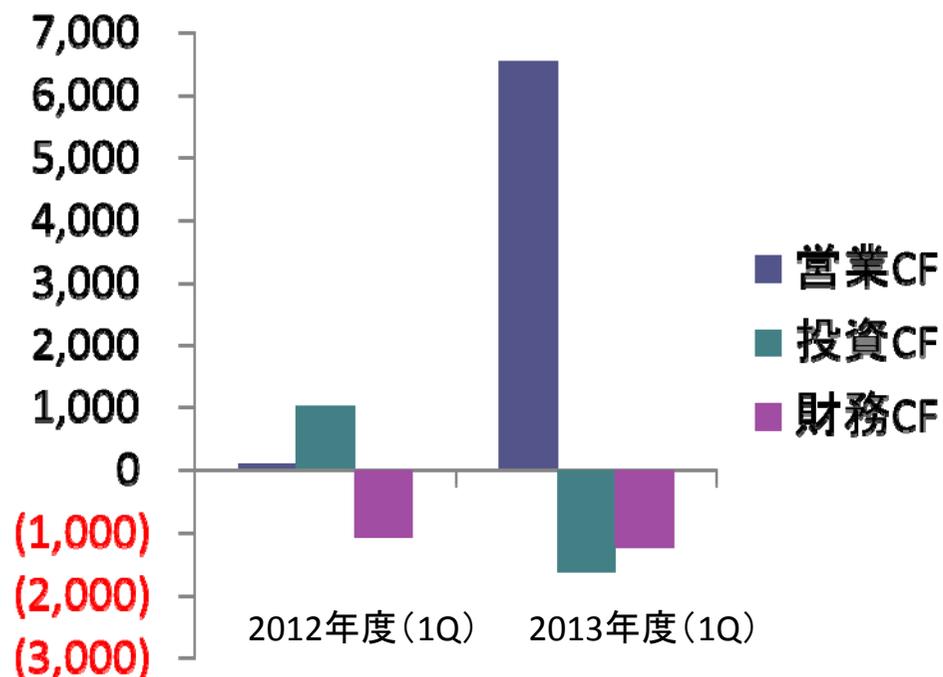
	2014年2月期 1Q実績			2013年2月期 1Q実績	
	売上高	構成比 (%)	前年比 (%)	売上高	構成比 (%)
設備管理事業	10,622	15.9	102.4	10,371	17.7
清掃事業	10,539	15.8	104.1	10,122	17.3
警備事業	8,438	12.6	106.8	7,898	13.5
建設施工事業	15,888	23.8	143.4	11,081	18.9
資材事業	10,721	16.1	112.6	9,525	16.3
自販機事業	7,498	11.2	99.9	7,508	12.8
サポート事業	2,964	4.4	143.1	2,072	3.5

# 連結貸借対照表 1Q(2013年5月末)

単位:百万円

	2013年 2月28日	2013年 5月31日	増減額		2013年 2月28日	2013年 5月31日	増減額
流動資産	79,323	85,915	6,592	流動負債	34,955	40,764	5,808
固定資産	21,375	21,671	295	固定負債	1,195	1,355	159
有形固定資産	3,796	3,933	136	負債合計	36,151	42,119	5,968
無形固定資産	12,321	12,095	△225				
投資等	5,257	5,641	384	純資産合計	64,547	65,467	919
資産合計	100,699	107,587	6,887	負債・純資産合計	100,699	107,587	6,887

# 連結キャッシュフロー（2014年2月期1Q）



	2013/2 1Q	2014/2 1Q	増減
営業活動キャッシュ・フロー	86	6,536	6,450
投資活動キャッシュ・フロー	1,007	△1,619	△2,626
財務活動キャッシュ・フロー	△1,049	△1,229	△180
現金及び現金同等物期末残高	9,221	13,418	4,197

## 主な増減要因

【営業活動CF】 6,536百万円

税引前当期純利益	3,411百万円
売上債権減	△1,828百万円
仕入債務増	6,488百万円

【投資活動CF】 △1,619百万円

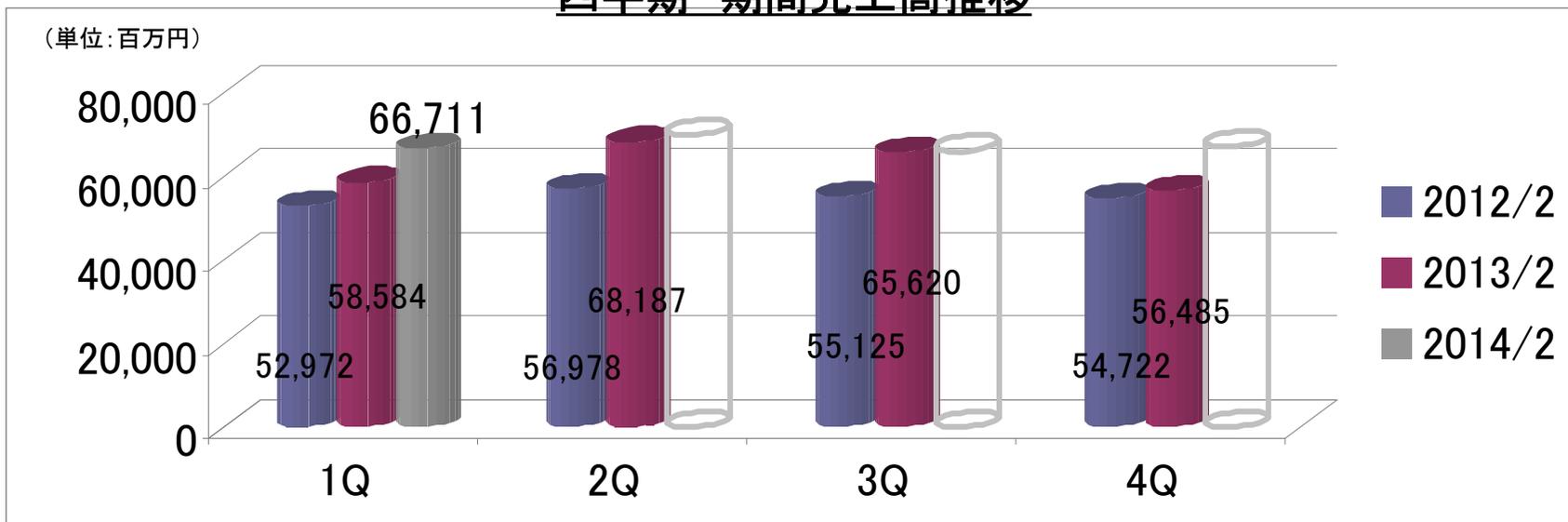
関係会社消費寄託による支出	△45,100百万円
関係会社消費寄託返還収入	44,300百万円

【財務活動CF】 △1,229百万円

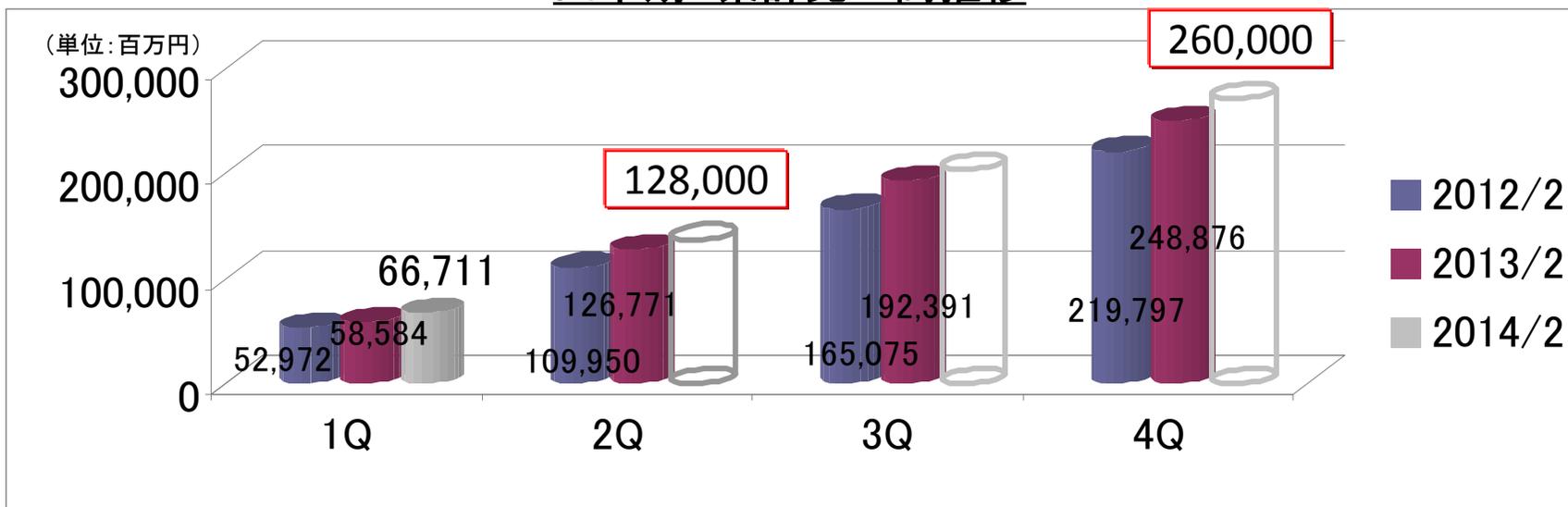
支払配当金	△1,208百万円
-------	-----------

# 過去3カ年の四半期推移:売上高

## 四半期 期間売上高推移

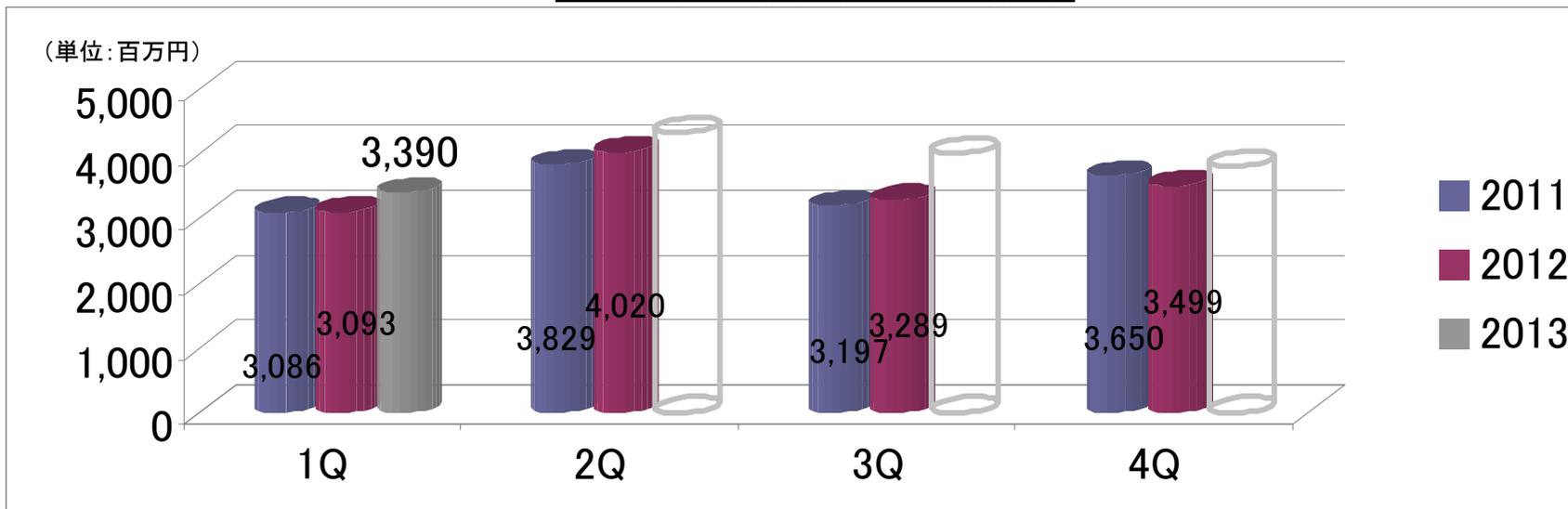


## 四半期 累計売上高推移

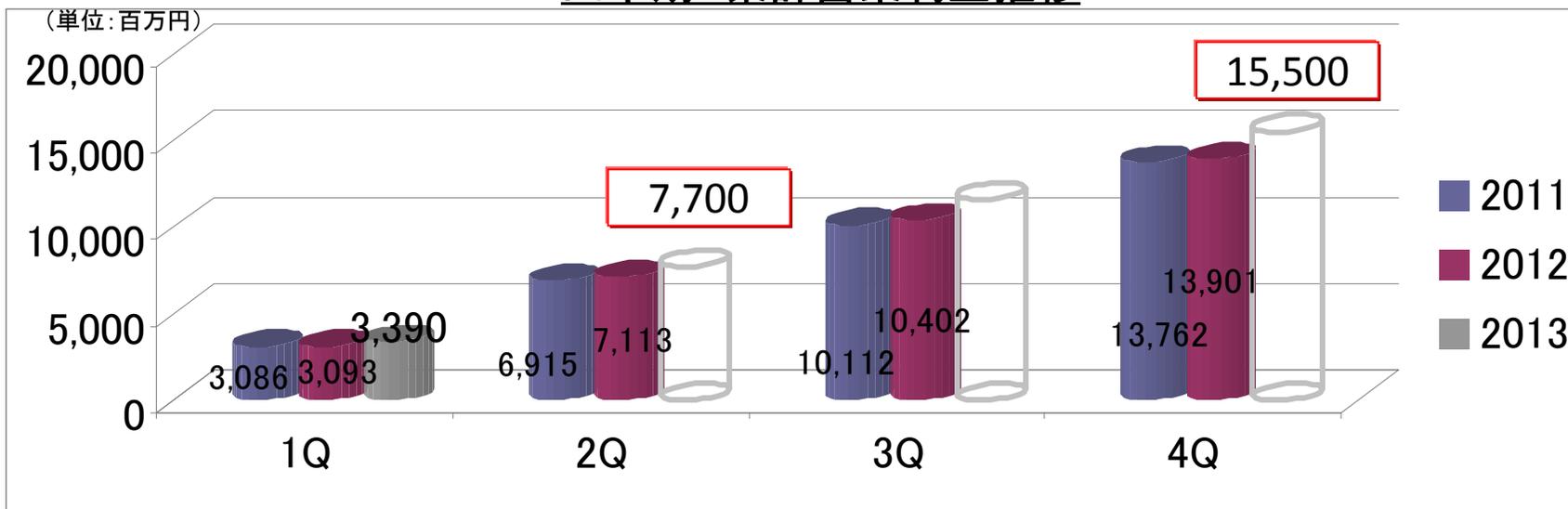


# 過去3カ年の四半期推移：営業利益

## 四半期 期間営業利益推移



## 四半期 累計営業利益推移



# 2014年2月期 1Qの主な活動について

- **グループ内外の新規受託・既存取引の拡大**
  - ー大型スタジアム、大手製造業の本社ビル、全国事業所、研究所、  
アミューズメント会社、駅ビル型商業施設、病院・医療施設、官公庁等
  - ーイオンモール東久留米・つくば・春日部他
- **環境事業の更なる推進**
  - ーイオン向けLED工事の受託継続
  - ースマートコミュニティ構築に向けた取り組み  
(北九州スマートコミュニティ創造事業への参画など)
  - ーBEMSの新規受託に向けた営業活動 → 2Q以降、受託件数増加見込み
- **資材事業・自販機事業・中国事業がスロースタート**
  - ー資材・自販機の新規取引開始  
イオンマーケット(旧大丸ピーコック)・マルナカ・山陽マルナカ
  - ー中国での日系企業受託交渉の推進

# 2Q以降の取り組み

- **2Q累計の売上目標：1,300億円以上**  
LED工事は、1Qを下回るも他事業で増収を目指す
  - 1Q計画遅れの資材事業・自販機事業・中国事業の推進
  - 設備事業のBEMSアグリゲーターの新規獲得の更なる強化
  - 清掃事業の「ADコート」拡販、「トイレ革命」の量産体制構築
- **粗利率/利益率の改善推進**
  - 原価低減の推進（協力会社ネットワーク再構築、資材の値入れ改善、在庫コントロール強化等）
  - 関東地区でのエリアセンター管理モデルの構築
  - 社内・グループ内のBPR・BPO推進
- **当社の独自性を発揮させる市場の開拓**
  - 衛生環境市場の業態毎の標準化モデル開発に着手
  - 当社開発 WAON認証に対応したEV充電器サービスの拡販

# 2014年2月期の業績見通し

単位:百万円

	2014年2月期通期予想			2013年2月期実績	
	金額	売上比 (%)	前年比 (%)	金額 (実績)	売上比 (%)
売上高	260,000	100.0	104.5	248,876	100.0
営業利益	15,500	6.0	111.5	13,901	5.6
経常利益	15,500	6.0	111.6	13,892	5.6
当期純利益	8,300	3.2	110.5	7,509	3.0

売上総利益率1ポイント以上回復

## ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

◇全て連結を対象として記載

◇記載金額は百万円未満を切り捨て

◇比率は小数点第2位を四捨五入

**イオンディライト株式会社**  
**(証券コード:9787)**

IR担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高橋(タカハシ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

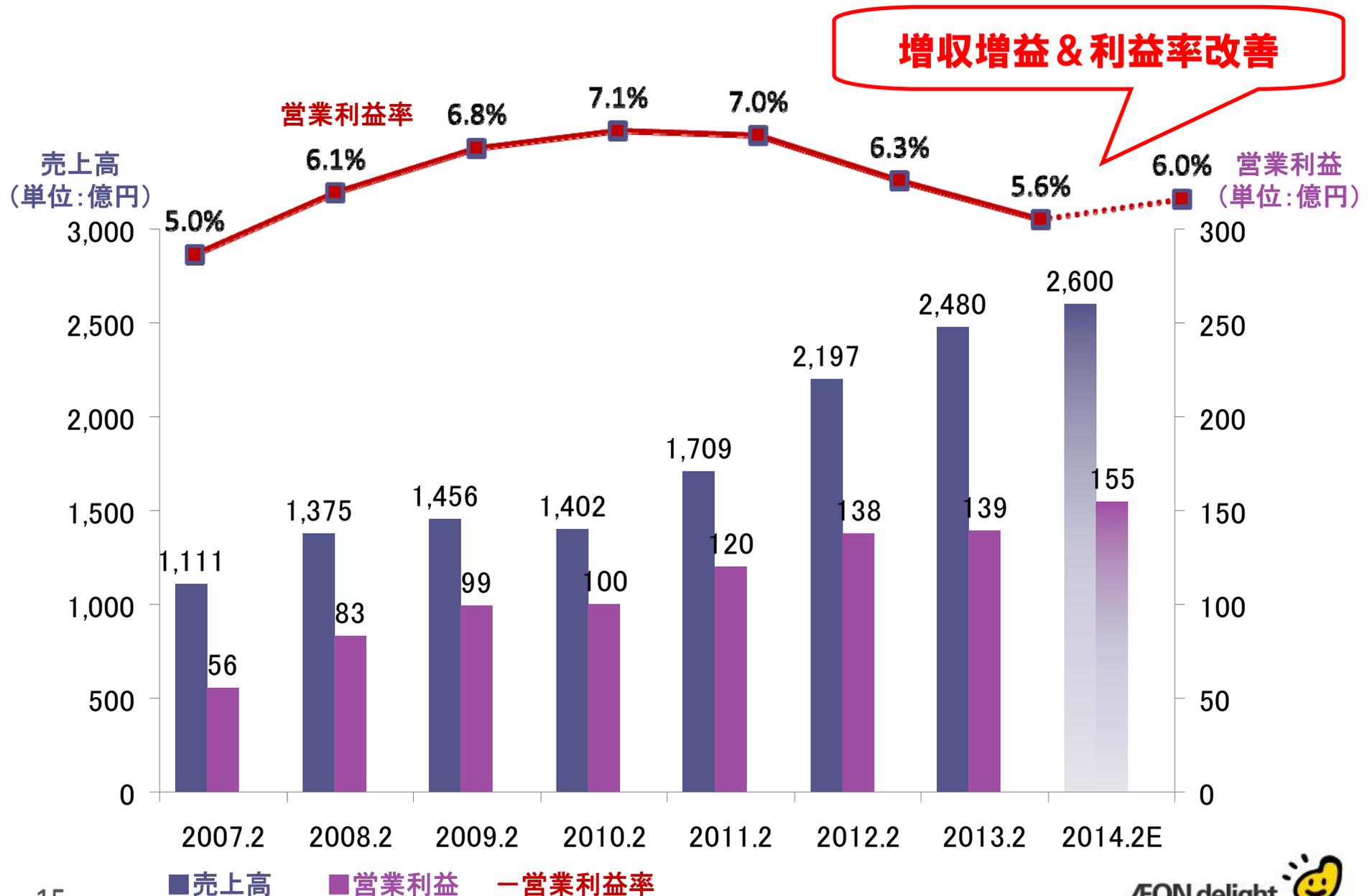
<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2013年5月31日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。

## <ご参照> 2014年2月期 主な取り組み

# 過去からの業績推移(売上高・営業利益・営業利益率)



# 事業を取り巻く環境の変化

## 新たなサービスの登場による市場の変化

⇒ 競争優位性を発揮し、収益を向上させるため  
各事業の構造改革を推進

## 環境負荷低減に対する意識の高まりと 事業機会の拡大

⇒ 現場で培われたナレッジ・ノウハウを生かし、  
国内外で省エネビジネスを拡大

# 2014年2月期の主な取り組み

(1) 原価低減への取り組み → **12億円低減**

常駐管理(個別管理)から遠隔監視(エリア管理)へ  
BEMS機器の導入  
食品設備の一元管理 → 省エネ、管理コスト削減を実現  
ESCO事業の展開  
人材の効率配置



(2) 事業の構造改革に向けた取り組み

1. エリア管理の導入

2. 商材の開発 ~清掃事業の取り組み~

川下から川上へ ~環境商材の開発~

- ① イオンディライトコート  
500物件 売上高2.5億円
- ② トイレ革命  
1500台 売上高1.8億円



(3) IT化、業務改革の推進



(4) 省エネビジネスの拡大

1. 国内での省エネ展開

2. アジアでの省エネ展開

- ① BEMS導入 売上高**20億円**
- ② 太陽光発電システムによる売電



静岡県菊川市の遊休地を利用した  
売電事業に参画  
・SPC(特別目的会社)に共同出資  
→ 配当+周辺業務の受託により収益拡大

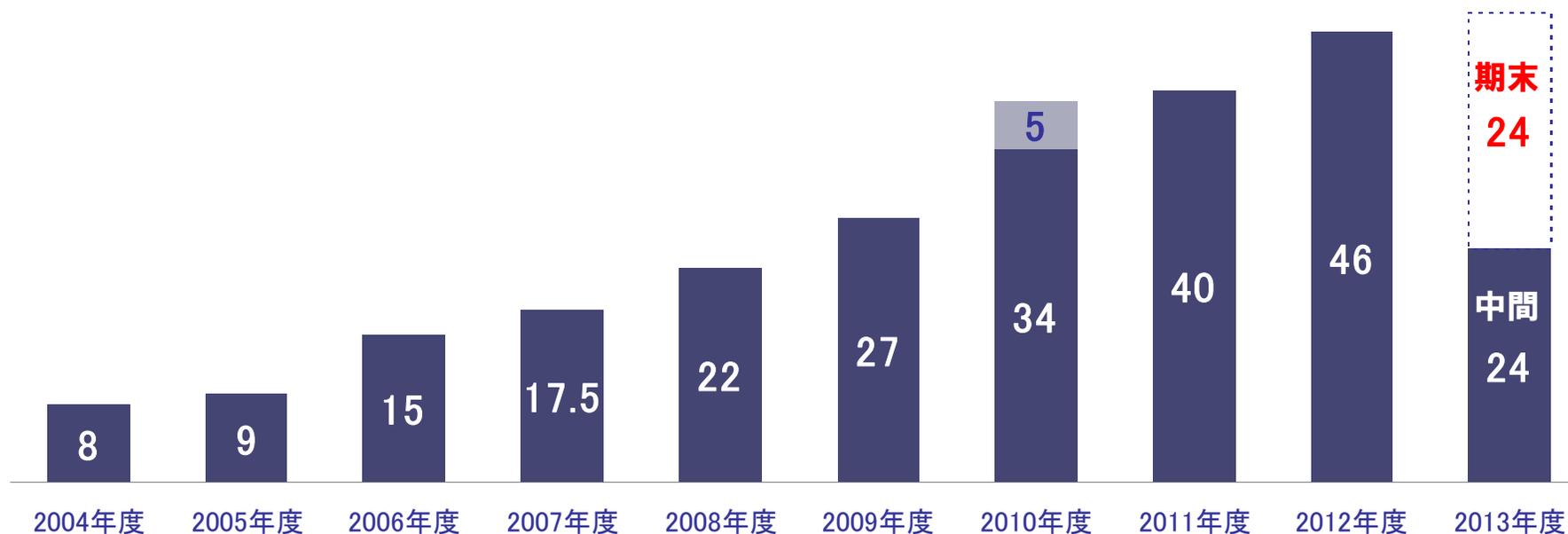
(5) **アジア**での市場創造

# 株主還元

## 2005年度以降**9期連続**の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円	<b>48円</b>

■ 配当金 ■ 記念配当 □ 配当予想



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。